

施工上の注意

全点共通項目

- 一部のビニル壁紙及び素材壁紙は施工難度が高いため、施工費が割増しになる場合があります。
- 下地は平滑に仕上げてください。天井や間接照明付近など、使用環境によって下地の不陸(段差、パテ跡、釘跡、糊ダマリなど)が目立つ場所がございます。特に表面がフラットな商品や薄手の商品は下地の影響を受けやすいため、入念に下地処理を行い施工してください。下地に配慮した施工を行うため、施工費が割増しになる場合がございます。
- 変色を避けるため、下地に応じてシーラー処理は必ず行ってください。特にコンクリート下地や合板下地の場合、水やアクを防ぐためシーラー処理は重要です。
- パテは下地材と同色のものを使用してください。
- 3巾施工以降のクレームはお受けできない場合があります。

折りジワについて

折りジワについて注意文がある商品は、取り扱いに注意が必要です。折りジワが付くと元に戻らない場合があります。

糊付け後の折りジワを防ぐポイント

- ① 重ねる枚数を制限する
ゆるやかに大ききたたみ、重ねも2~3枚以内にしてください。(図①)
- ② 壁紙を巻く
壁紙に糊付けした後、壁紙をたたまないでヘリにカットテープ(養生用プラスチックテープ)を付け、頭としりをこのテープを挟んで合わせてふわっと置き、重ね置きをしないでください。(図②) 長さのあるものは同様にした上で軽く巻き、必要なオープンタイムをとってください。その際、重ね置きはしないでください。
- ③ 壁紙をプラスチックの袋などに入れる
糊付け後の壁紙は、プラスチックの袋や容器に入れて乾燥があまり早く進まないようにオープンタイムを取るのが最良の方法です。

糊付け後のたたみ方



参考資料：壁装施工団体協議会発行「素晴らしい壁紙に素晴らしい技術」

特に注意を要する商品

<p>汚れ防止壁紙</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 汚れ防止 ● リフクリーン ● アカルクリーン ● ハードタイプ 汚れ防止 ● スーパーハードタイプ 	<p>糊付け ・下地は平滑にし、濃いめの糊(エチレン酢ビ系接着剤入り)で施工してください。 ・糊付け後は折りジワが付かないように大ききたたみ、ジョイント部や出入隅は丁寧に圧着してください。</p> <p>施工終了後 ・表面に付いた糊は変色の原因となりますので、きれいな水を使用して十分に拭き取ってください。</p> <p>モルタルやコンクリートの下地に施工する場合 ・下地からの汚れやふくれを防ぐために、下地表面をシーラーで必ず2度処理してください。</p> <p>低温時に施工する場合 ・オープンタイムを長めにとってください。 ・冬期はできるだけ室内温度を暖めて施工してください。 ・接着剤は5℃以下になると接着強度が落ち、下地に逃げられない水分・空気が表面に抜けることができずふくれとなります。モルタル、コンクリート下地の場合は特に発生しやすいのでご注意ください。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ● ハードタイプ 撥水コート 	<p>糊付け ・下地は平滑にし、濃いめの糊(エチレン酢ビ系接着剤入り)で施工してください。 ・糊付け後は折りジワが付かないように大ききたたみ、ジョイント部や出入隅は丁寧に圧着してください。</p> <p>低温時に施工する場合 ・オープンタイムを長めにとってください。 ・冬期はできるだけ室内温度を暖めて施工してください。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ● 表面強化 ● ハードタイプ 	<p>糊付け ・下地は平滑にし、濃いめの糊(エチレン酢ビ系接着剤入り)で施工してください。 ・糊付け後は折りジワが付かないように大ききたたみ、ジョイント部や出入隅は丁寧に圧着してください。 ・汚れ防止機能を持つものは上記の汚れ防止壁紙の施工上の注意をご参照ください。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ● 透湿 	<p>・糊の乾燥が速いため、付け溜めはできません。長時間置くと相剥ぎや目スキの原因となります。</p>

施工上の注意

素材壁紙 (BB 8591 ~ 8602)

標準施工

素材の特性上ジョイント部に色差が生じることがあります。
施工時または施工後に素材が落ちることがあります。
下地からのアクやふくれを防ぐために、下地表面をシーラーで必ず処理してください。

- 糊付け**
- ・ 糊は濃いめに、塗布量は多めにして相剥ぎを防いでください。
 - ・ 表面に糊が付着しないようご注意ください。
 - ・ 糊付け後は折りジワが付かないように大きくたたみ、重ね置きはしないでください。
 - ・ オープンタイムは下記にある各商品個別の施工注意をご確認ください。
- 張り付け**
- ・ 重量がある素材壁紙は、ゆっくり垂らして伸ばしてください。
 - ・ 素材壁紙は水分を含むと柔らかくもろくなります。
天井への施工は破損や素材の滑落などが起こる可能性がありますので十分ご注意ください。
 - ・ 撫で付けは柔らかい刷毛を使用し、金ペラや固いローラーは使用しないでください。
 - ・ カッターの刃は常に鋭利な状態で使用してください。
 - ・ 石膏ボード表面層を切り込まないよう下敷きテープを使用してください。切り込みは目スキの原因となります。
 - ・ 施工中、施工後とも、冷暖房などによる急激な乾燥は避けてください。目スキの原因となります。
- 施工終了後**
- ・ 表面に糊が付いた場合は固く絞ったスポンジで叩くようにした後、乾いた布で丁寧に拭き取ってください。
糊汚れがあると変色の原因になります。
 - ・ 張り替えなどで剥がす際は、表面にたつぷりと水打ちをして、裏紙にまで湿り気を与える、
または剥がし材を使用すると比較的剥がしやすくなります。

下記は標準施工に加えて必要な個別の施工注意です。

BB 8591 ~ 8594 (珪藻土壁紙) / BB 8595・8596 (木粉壁紙)

- ・ オープンタイムは15~20分、施工可能時間は40分が目安です。長時間おくと相剥ぎや目スキの原因となります。
- ・ 折りグセが付かないように両手で持つようにして、4つ折りは絶対にししないでください。
(施工時に折りグセ部分の塗膜が剥がれることがあります。)



両手で折りグセが付かないように持ってください。

- ・ 壁紙の表面を強くこすらないでください。吹付けた塗膜が剥がれることがあります。
- ・ 壁紙が湿気を含んだ状態で強い力が加わると跡が残ったり、表面が傷付くことがあります。

BB 8597 ~ 8602 (オレフィンチップ壁紙)

- ・ オープンタイムは夏期10~20分、冬期25~35分が目安です。長時間おくと相剥ぎや目スキの原因となります。